

小説「独鈷山」映画化について



コカリナ奏者・作家
黒坂 正文様

小説「独鈷山」はコロナ禍の中で書き上げました。以前から、故郷上田に付いて書いておきたいと思っていたのですが、なかなか時間がなくて実現しませんでした。そこへ突然コロナがやってきて、音楽活動は中止を余儀なくされ、落ち込んだのですが、「待てよ、これはもしかしたらチャンスかもしれない」とこの小説を書き始めました。書き始めると堰を切ったように故郷のいろんなことが思いだされ筆が進みました。特に私の原点となっている少年のころの思い出は、フィルムを高速回転させるように湧き出てきました。その原点の背後にはいつもあの力強い「独鈷山」の峰々がそびえています。

この小説は「独鈷山」の麓、前山寺や無言館がある上田市東前山地区を舞台にしたものです。小説なのですが、半分ぐらいは自分の体験です。戦後のあの時代、村は子供で沸いていました。男子は毎日のように「独鈷山」の連山である「弘法山」に上り、チャンバラをし、帰ってくると田んぼの水管理をさせられました。自然と共に生きていく中で不思議な体験も沢山しました。特に小説を読んでもらった皆さんが「こんなことあるか?」と思われる「雨乞い」などは、鮮烈な思い出として残っています。2カ月ほど全く降らなかった雨が「雨乞い」が終わった途端、どっと降ってきたのです。それは嬉しくもあり、恐ろしくもありました。そして、何よりも上田盆地の美しさ、特に夕日の美しさは、いろんなところで夕日を見てきているのですが、あれほど美しい夕日は他に

ない、とっております。上田は映画監督の山田洋次さんが、小説「独鈷山」の推薦文に書いて下さったように、本当に美しい桃源郷のようなところです。

この美しい故郷を舞台にした話が、映画化される予定です。物語自体は、ごく普通のあの時代の少年たちの話ですが、その背後に映し出される美しい景色は、大ヒットした映画「国宝」に負けない「国宝」級のものになると確信しています。

どうか、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。



雨乞いの行事「百八手」



独鈷山を望む

例会日誌

1月28日(水) 晴れ

2025～2026 No.24

- 司 会 手塚達也君
- 斉 唱 「それでこそロータリー」
- ゲ ス ト 黒坂正文様(コカリナ奏者・作家)
矢口周美様(音楽家)

- ラッキー賞 石井公彦君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 黒坂正文様(工藤君よりリュードヴァンのワイン)
倉島 博君(蓑輪君よりお土産のお菓子)
蓑輪「大雪の日かまくらで有名な秋田県横手市に行ってきました」

(友愛賞のつづき) 塩之入永子さん(母袋卓郎君より季節限定「三宝柑ゼリー」)
塚田泰裕君(塩之入さんよりエビせんとうチーズ)



● 1月慶祝 【周年祝い】

小田中讓君 30年 後藤正直君 27年
佐藤友則君 13年 高野智宏君 5年

【結婚記念日祝い】

渡辺敏成君・朋美さん 1/8
蓑輪佳明君・悦子さん 1/11
上原 達君・晴子さん 1/11
石井公彦君・裕美子さん 1/20

【誕生日祝い】

一之瀬治君 1/6 石井公彦君 1/19
久保友幸君 1/19 神津 健君 1/21
村上 泰君 1/25 蓑輪佳明君 1/28



■ 会長挨拶

山寺 高太郎 会長



大相撲初場所は、ウクライナ出身の安青錦が優勝しました。故郷は戦火の真っ只中、きっと故郷の人々を勇気づけられることでしょう。

これからしばらく、選挙シーズンですのでロータリークラブの基本的な立ち位置を確認しておきたい思います。

私たちの上田東ロータリークラブの定款の最初に「クラブの定款・細則は標準ロータリークラブ定款及び推奨クラブ細則を採用し」とあります。多くの皆様にとっては既にご存じの事とは思いますが、これらについて確認をしておきたいと思います。

まず推奨クラブ細則とは、クラブ内運営についての規定です。さらに2025年版の標準ロータリークラブ定款では、第14条第2節に「支持の禁止。本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、かかる候補者の長所または短所を討議しないものとする。」と規定しています。

もちろん、国際ロータリー細則もクラブ内、地区内、国際ロータリー内の運営や役員選出についての記述の範

囲を出ていません。

これは、クラブとして支持、推薦、討議しないとの規定であってクラブ会員の私的なあるいは個別の言動に対してなんら規制をするものでないでしょう。又、「討議しない」との規定については会員個人の意見を表明してもクラブの議題として討議しないと理解できますが、その場合ロータリアンとしての常識にのっとっての言動をお願いします。いろいろな立場や意見があってもこれをお互いに仲間の価値として共有しようとする姿勢が大切だと思っています。

本年のテーマである「仲間の価値を共有しよう」がその立ち位置だと考えています。しかしながら、まちづくりと政治は切り離すことはできませんが、仲間の価値を敵とみなさいことが大切だと思っています。

さて、私が結婚し、子育てしたところは塩田平でした。母子家庭と謂われた我が家でも春の朝、庭のタケノコやフキノトウを酒のつまみに近所の人々と遠く別所線の電車を眺めながらのひと時、或いは秋の野焼きの煙のなかを走る電車の風景は故郷の情景でした。

本日の黒坂さんのスピーチもきっと楽しんで拝聴致したいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

■ 出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	52	50	25	—	50.00%
前々回	52	50	16	8	83.33%

ニコニコBOX

(敬称略)

石井、小田中、工藤、久保、倉島、後藤、小林、塩之入、関竹花、田守、塚田、手塚(た)、手塚(達)、中嶋、橋詰(洋)松山、蓑輪、母袋(創)、母袋(卓)、柳澤亨、山寺

※山寺高太郎君/又、寒さが一段と厳しくなってきました。皆様ご自愛を!!黒坂さん・矢口さん、本日はありがとうございます。

※母袋創一君/黒坂さん、ようこそ。映画化実現に向け頑張りましょう。

※工藤 恒君/黒坂正文様・矢口周美様、ようこそお越し下さいました。演奏と卓話楽しみです。

※後藤正直君/黒坂先生ようこそ。楽しみにしています。

※塩之入永子さん/黒坂ご夫妻様、ようこそおいで下さいました。お話し楽しみにしております。

※中嶋大介君/黒坂様・矢口様、ようこそ。

※松山賢太郎君/黒坂さん、宜しくお願いします!

※石井公彦君/誕生日祝い、ありがとうございました。

※小田中讓君/周年祝をいただいて。アツという間でした。30年たちました。

※母袋卓郎君/寒い!もうイヤ!と言いながら、菅平の寒さ全国1位に期待してしまう…。

※塚田泰裕君/本日、早退します。
本日の金額/35,000円 累計/758,000円